

《企画書》

提出者 わにおじさん

【タイトル】『選択眼』なぜ一流の人はクロコダイルを選ぶのか？

“人生100年時代”を勝ち抜く7つの選択

【概要】

50代は人生の大きな分岐点です。社会的な立ち位置がほぼ固まり、仲間との距離が広がり、ライバルも減る。これまで導いてくれた先輩は少なくなり、後輩からは一線を引かれ始める。同時に、健康・お金・生きがい・人との出会いなど、自ら求め、動くことが求められる年代でもあります。「このままでいいのか？」「もっと良い選択があるのではないか？」

人生100年時代を生き抜くためには、迷わず決断できる見極める目“選択眼”を磨くことが不可欠です。社会との絆、人との絆、お金との絆を選択眼で育てていきましょう。

本書では、一流の人たちの「選択基準」に学び、迷わず・不安を感じず・ワクワクしながら未来を切り拓く方法をお伝えします。50代を「不安の年代」ではなく、「人生を再構築するチャンス的年代」とするための実践的な指南書です。

——あなたは、50代をどんな未来につなげますか？

【想定するターゲット】

- ・40代、50代、60代の管理職以上のビジネスパーソン
- ・「運」を味方につけることに関心がある人
- ・高級品・本物志向のある男性層
- ・これからの人生を“ワクワクする未来”にしたい人
- ・50代からの人生を「選択の力」で豊かにしたいすべての人

【構成案】目次抜粋

- 第1章 一流のたしなみ——身につけるものが人生を変える理由
一流の人が持つ5つの選択基準(迷わないためのルールなど)
- 第2章 お金と人生を豊かにする選択——財布選びとマネーマインドの秘訣
一流がクロコダイル財布を選ぶ理由(お金の流れを整える)
- 第3章 一流の選択が導く“魅せる服選び極意”
最高の素材で「自分ブランド化」する(成功者が素材にこだわる理由)
- 第4章 心は身体で作られる——迷いのない選択がもたらす心の安定
身体を整えると決断力が上がる(健康と選択の関係)
- 第5章 人生100年時代を“遊ぶように”生き抜く——レバレッジと断捨離
会社の肩書きに頼らないキャリア戦略(新しい出会いを意識する)
- 第6章 一流の思考を育むマインドセット
成功者の朝の習慣(生産性を決めるゴールデンアワー)
- 第7章 一流の選択が繋ぐ未来——穏やかでエネルギッシュな100歳を目指して
自分のストーリーをデザインする(人生をプロデュースする思考)

おまけ: 選択眼を極める30日チャレンジ!

サンプル原稿【第2章】お金と人生を豊かにする選択—財布選びとマネーマインドの秘訣

「価格はあなたが支払うもの。価値はあなたが得るものだ。」

——ウォーレン・バフェット

あなたは、財布をどのように選んでいますか？

単に「高級ブランドだから」「有名だから」という理由で選んでいませんか？

「価格と価値は違う。」これは、世界有数の投資家であるウォーレン・バフェットの言葉です。彼は「お金を使うときは、その価格ではなく、得られる価値を見極めよ」と説いています。

財布選びも同じです。単に高価なブランドものを持つのではなく「その財布が自分の未来にどんな価値をもたらすのか？」を意識することが大切です。

では、あなたの選択眼はどのレベルでしょうか？
これから「お金に愛される選択眼」をチェックしてみましょう。
あなたのお金の流れが、今日から変わるかもしれません。

■ あなたのお金愛され度チェック！（省略）

「お金との付き合い方」が人生を左右する

お金は「選択の幅」を広げるための道具

あなたのお金愛され度は、どうでしたか？

結果が良かった人も、伸びしろを感じた人も、ほんの少し「お金との向き合い方」を変えるだけで、驚くほど人生が変わるものです。

なぜなら、お金は「人生の選択肢を増やす道具」だから。

「あなたが今後5年でやってみたいことはなんですか？」

お金があるからこそ、挑戦できる機会が増え、自由な選択ができる。

40代を超えたあたりから自分の時間の使い方をコントロールできるようになってきた方も多いでしょう。休みをとって旅行に行ったり、趣味を充実させたりと考えられるようになってきます。お金があることでそれは単なる夢ではなくあなたの明るい未来となるのです。

逆に、お金に振り回されていると、本当にやりたいことを諦めたり、不安に縛られたりする。時間があっても、体力があっても、そのゆとりがかえってストレスになったりします

お金は単なる数字ではなく、未来の可能性を広げる「選択のパスポート」のようなものなのです。

成功者ほど、お金を「エネルギー」として考える

成功者たちはお金を「ただ貯めるもの」ではなく「エネルギー」として捉えています。

彼らにとってお金は単なる所有物ではなく「どう流すか」が未来の成功を決める要素。

社会の中で、自分だけはお金を使わないように、使わないようにして溜め込むだけの人はお金は減らないかもしれませんが、大きなお金が巡ってくることはないのです。

例えば、お金の流れを生み出すことこそが、社会を発展させると考えた日本の偉大な経営者がいます。

日本資本主義の父 渋沢栄一 です。

彼は、まだ多くの人が「お金は貯め込むもの」と考えていた時代に「お金は循環してこそ意味がある」という哲学を持ち、日本初の銀行である第一国立銀行を設立しました。

「お金が社会の溝に滞るのではなく、流れる仕組みを作れば、人も企業も豊かになる」と信じていたのです。

銀行を「大きな川」に例え、資金を集めて流すことで、貿易や産業、工業、学問、インフラなど、国全体の発展を促進できると考えていたそうです。

現代の世界的な経営者たちも、同じことを口にします。

「お金を増やすことより、どう流すかが大事。」

成功者たちは「お金は貯めるだけでなく、未来の価値を生むものに投資すべき」だと考えています。

彼らは「財布ひとつ」選ぶときでも、見た目やブランドだけでなく「お金が心地よく流れる環境を作れるか？」という視点で選択しているのです。

では、あなたは「お金を味方につける財布選び」ができているでしょうか？

この章では、お金に愛される人たちが持つ視点と、彼らを選ぶ財布の共通点を詳しく見ていきます。

あなたのお金の流れが、今日から変わるかもしれません。

成功者は、財布を単なる収納道具としてではなく、お金の流れを整える大切な「器」として考えます。

一流の人ほど、財布の素材にも意味を持たせ、その質が持ち主の品格を映し出すと知っているのです。

では、彼らを選ぶ素材とは何か？

一流の人がクロコダイルの財布を選ぶ理由

金・ダイヤモンド、そしてクロコダイル——揺るぎない価値を持つ選択

金は「普遍的な資産」、ダイヤモンドは「永遠の輝き」、そしてクロコダイルは「革のダイヤ」と称される天然素材の最高峰です。

(続きますが一旦ここまでで、よろしくお願いします)